

埼玉親善大使レポート

Abril de 2016

長山優子

文化的な街 メキシコシティ

スペイン語で Teatro (テアトロ)、これはなんだかお分かりになるでしょうか。これは英語で Theater、そう演劇のことです。メキシコシティは首都ということもあり、博物館、大劇場、小劇場等とにかく文化的な施設が沢山あります。今回はこのうち特にこの演劇と、以前行ったコンサートについて紹介したいと思います。

テアトロ

ここ、メキシコシティに来て、私が足繁く通っているのは様々な小劇場です。観客は多くて 30 人程度。目の前で役者さんが演じるので、とても迫力があります。私は舞台といえば歌舞伎座での歌舞伎しか日本では見たことがないのですが、歌舞伎座のような大きな舞台とは違った面白さが小劇場にはあります。

小劇場に通っているうちに、俳優の男性と知り合いになりました。彼とは終演後に出待ちをして、一緒に夕飯を食べ、感想を語ったりして友人となりました。その後も次回作の招待状を送って下さったり、オフの日にご飯に行ったりと、私の知らない世界についてお話しして下さい、とても興味深いです。

小劇場よりもさらに短く小規模なものをミクロテアトロと呼んでおり、私の作家さんの話だと、ここメキシコではちょっとしたブームとなっているようです。外国人向けのスペイン語授業を受け持つ先生でもあり私の友人でもある女優さんと、共通の友人の監督が今現在上演しているミクロテアトロは上演時間 15 分の短いものです。役者さんは 5 人ですが、観客と役者さんが 8 帖くらいの部屋の壁に沿った椅子に座ったところから演劇が始まります。短いですが、その分内容が濃いのでとても面白いです。またこの劇場のいいところは各 30 分ごとに他の部屋でも芝居をしているので、観客は数々の芝居を渡り歩くことができます。料金は各お芝居 500 円ほど。日本でもこのようなお芝居があるのか詳しくは知らないのですが、とても面白い試みだなと感じました。



ミクロテアトロのチケット売り場。30 分ごとの作品が並びます。

コンシエルト

Concierto（コンシエルト）とはスペイン語でコンサートの意味です。ここに来てから私は数回クラシックのコンサートに行き、メキシコのポップス、そして先日来墨したローリングストーンズのコンサートにも足を運びました。ここメキシコで行ったコンサートで感じたことをご紹介しますと思います。

まず、コンサートホール。ベジャスアルテス宮殿でオーケストラを聞いた時は、建物がとても豪華で驚きました。オペラハウスとしても使われるものだと思いますが、3階席でもかなり見渡せませす。またメキシコのポップスを聞いた時もオペラハウスのような建物で行われましたが、とても驚いたことがあります。それは、コン



ベジャスアルテス宮殿の中

サート終了後一階席の観客が皆総立ちになり、アーティストのほうへ波のようになっていったことです。日本ではまず考えられない光景なのですが、アーティスト側も皆の握手に応えたりしているのを見て、驚きました。観客とアーティストの距離が近いのは魅力的だと思います。

逆に距離が遠いストーンズのコンサート。会場はF1サーキット場で、会場の周りにはストーンズの非公式グッズがずらりと並んでいます。そして、観客は皆ビデオでコンサートの様子を撮影し、働いているスタッフも見て見ぬふり。日本ではマナー違反なことがメキシコでは普通にまかり通っていることに驚きを感じました。

今度はスペインからくるアーティストのコンサートに足を運ぼうかと考えています。また、友人たちの次のお芝居も招待されているので、ここにいる後3か月、楽しもうと思います。